

第12回 夏の教育セミナー 2025年大学入学共通テストから考えるこれからの教育

選ばれる高校へ、魅力化を模索

「探究」深め、国公立進学に成果

公立高校の存在が、いま、問われている。少子化が進み、全国の半数の公立高校が定員割れに直面しているといわれる中、求年度からは私立高校で授業料無償化の所得制限が撤廃され、全ての家庭が対象になる。「選ばれる高校」となるため、各校ではさまざまな特色を打ち出し、魅力化に取り組んでいる。



探究学習のプロジェクトで教員と話し合う生徒たち。6月4日、新潟県立津南中等教育学校

新潟県津南町に、今年度から公立の公立高校が誕生する。公立津南町立津南高等学校。6月4日、新設校の生徒と教員が一堂に会し、探究学習のプロジェクトについて話し合った。生徒たちは、探究学習の成果を発表し、教員からは、探究学習の重要性が語られた。

公立津南町立津南高等学校は、今年度から公立の公立高校としてスタートした。探究学習のプロジェクトを通じて、生徒たちは、探究学習の重要性を学び、教員からは、探究学習の重要性が語られた。

探究学習のプロジェクトを通じて、生徒たちは、探究学習の重要性を学び、教員からは、探究学習の重要性が語られた。

新設学科 専門人材を育てる

新潟県津南町立津南高等学校は、今年度から公立の公立高校としてスタートした。探究学習のプロジェクトを通じて、生徒たちは、探究学習の重要性を学び、教員からは、探究学習の重要性が語られた。

探究学習のプロジェクトを通じて、生徒たちは、探究学習の重要性を学び、教員からは、探究学習の重要性が語られた。

国語

実用文新設、複数素材を読み解く

令和7年度大学入学共通テストの国語科目は、実用文の新設と、複数素材を読み解くという特徴がある。これは、高校教育の改革の一環として、生徒の読解力や思考力を高めるための取り組みである。

令和7年度大学入学共通テストの国語科目は、実用文の新設と、複数素材を読み解くという特徴がある。これは、高校教育の改革の一環として、生徒の読解力や思考力を高めるための取り組みである。

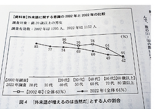


図4 「共通テスト」の受験者数(推定)と、その内訳(推定)

クロスロード 交差する視点

クロスロード 交差する視点。これは、異なる視点から問題を捉えることで、新たな発見や理解を得るためのアプローチである。

原初の創造性に立ち返る

原初の創造性に立ち返る。これは、創造性の源を探究し、新たな創造性を生み出すための取り組みである。

溝上 慎一 (元京都大学理事)

全国の先生方とともに、「高校教育のこれから」を考えませんか？

夏の教育セミナー

主催：日本教育新聞社・株式会社ナガセ (東京：ハイテク・東海：東海新聞社)
後援：文部科学省、各都道府県教育委員会 ほか (※申込・キャンセル)

第12回 2025年大学入学共通テストから考えるこれからの教育

8/1金 東京会場
ベルサール新宿グランド
イベントホール・東京駅前都心西側南8-17-3
住友不動産新宿グランドタワー1F

8/4日 大阪会場
スイスホテル南海大阪
大阪府大阪市中央区難波5-1-60

基調講演▶40分
日本の未来をつくる
これからの教育
高校教育はどのような？ どうする？
教育改革推進の
キーパーソンが
高校の先生に直接語る

特別講演▶各40分
いま知りたい
教育トピックの
最新情報
2025共通テスト分析
や生成AI・ICT活用等
最新トピックに関する特別講演

分科会▶60分
授業の実践法を
学び、深める
先進的かつ本質的！
高等学校での
具体的な授業実践
から学ぶ